

照陽の家だより

住民の皆さんと防火訓練

9月28日、秋の火災避難訓練並びに水消火器を用いての消火訓練を実施しました。今回は台所の電子レンジからの漏電による火災を想定し、利用者様にも協力して頂きながら行いました。当日はあいにく雨模様になりましたので玄関までの避難としましたが何度も職員同士でシュミレーションをしていたおかげでスムーズに避難訓練が出来ました。また実施にあたっては地域の皆様にもご協力を頂きました。コロナ禍、利用者様と地域の方々との交流も少なくなりましたが消火器の使用手順、詳細など皆さんと共有させていただきました。いつ、どこで起こるかも分からない災害に対して常日頃より意識を持って訓練を重ねていきたいと思ひます。

(照陽の家 防災管理者)原 翔太



訪問時緊急対応の研修 (ロールプレイング研修)

訪問時、利用者様宅で緊急事態(意識がないなど)が発生している事を想定して研修を行いました。緊急時訪問者は、1人では利用者様宅には入れないので応援を呼ぶために連絡をします。その連絡をスムーズに行えるようマニュアルを作り方が一のための対策をしています。いざ、事態が起きて焦らないよう引き続き研修などを行っていき利用者様の安全を守っていきたいと思ひます。



地域で暮らすこれまでの生活習慣を継続出来るよう応援しています!!

今日は、岩倉町のながた茶店さんにお邪魔しました。兼ねてから行ってみたいというご利用者様のご希望です。美味しい釜飯を堪能し、素敵なたたずまいの店内に感激しておられました。



照陽の家は住み慣れた地域において、高齢者の方、お子様、地域の方、誰もが集い、多様なサービスや活動の中で支え合う拠点です。



令和5年度 第3回運営推進会議開催(9/15)

米子市長寿社会課並びに米子市義方湊山地域包括支援センターご担当者様、また運営推進委員の皆様にご参集頂きました。早速、皆様より最近の状況をお聞きし地域の情報共有をさせて頂きました。この秋には公民館祭も開催する所も多いようですが新型コロナウイルス感染症は続いて拡大傾向でまだ気が抜けない事、また猛暑の影響で自宅で熱中症、脱水など倒れる人も多く包括支援センターは緊急訪問が多かったとの実情をお話し頂きました。照陽の家からは9月28日実施予定の防災訓練に地域の方のご参加、ご協力をお願いしました。



利用者様と一緒に作った花壇に秋バラが綺麗に咲きました。利用者様、職員共に心が和む秋となりました。

入浴担当



介護職員
道満 温美

照陽の家に入職して10年が過ぎました。入浴はご存知のように身体の清潔と疲労回復のために日常好んで取られる生活行動の一つです。退院直後、ADLが低下し自宅では入浴が困難な方も特殊浴槽をご利用頂くと本当に満足した表情を見せて下さいます。照陽の家では毎日、6名~10名位の利用者様が入浴されます。一部介助の方、全介助の方、職員が見守りをしてご自身でしようとされる方など様々です。入浴前には健康状態をチェックし不安が多少であれば看護師が入浴可否の判断をします。入浴時には皮膚状態や全身状態の観察をさせて頂いていますが何より脱衣場や浴室では利用者様と1対1になるのでフロアでは周りを気にしてあまりお話しされない方が入浴中は冗談を言われたり笑顔でずっとお話しされたりします。そんな様子を拝見していると入浴は心が解放されるかけがえのない時間だと感じます。利用者様が浴室を出て行かれる時に「あ〜、気持ち良かったわあ」と言って頂けると遣り甲斐を感じる瞬間です。